

令和4年7月

文

あ お ぞ ら

月

第377号

鹿屋市青少年育成センター

鹿屋市共栄町20-1 TEL 31-1138

(鹿屋市教育委員会 生涯学習課)

「子は親の鏡」

鹿屋市立上小原小学校 校長 矢野 智

私が教職に就いた頃、上司から勧められた本がありました。それは、「ドロシー・ロー・ソルト博士が執筆された『子どもが育つ魔法の言葉』という本」です。子育てについての本ですが、子どもを育てるという点では、教師も学級経営等の参考になることがたくさんあります。

いろいろな会で紹介されています。ご存知の方も多いと思いますが、改めて子育ての参考になれば幸いです。

○誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ。
○けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる。

○愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ。

○子どもをばかにすると、引っ込みじあんな子になる。

○励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる。

○叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう。

○広い心で接すれば、キレる子にはならない。

○親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる。

○認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる。

○分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ。

○親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る。

○子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ。

○やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ。

○守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ。

○和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世はいいところだと思えるようになる。

15項目紹介しました。一つ一つ確認されてみてはいかがでしょうか？

ところで、先日、こんな場面に出会いました。その日は天気の良い日でした。ある公園を通りかかると、家族で遊びに来ているのです。いいなあと思っていると、なんと、その親はスマホを取り出し、子どもに渡したのです。その子どもはゲームなのかスマホで一人遊びをし始めたのです。その光景を見て「うーん」と考えさせられてしまいました。

親の態度だけでなく教師の態度は、敏感に子どもの心に影響するものです。私も二人の子どもをもつ父親ですが、上記のどの項目ももっと意識していかないとなあ強く感じることでした。

あっという間に子どもは大きく成長します。ちょっとした心掛けで、子育てを通して、親も育っていきますね。

